

手術説明書

Barbie式人中短縮術

この説明書はBarbie式人中短縮術について、その目的・内容・危険性などを説明するものです。
ご不明点は何でもおたずね下さい。

☑目的と内容

上唇と鼻の間の余剰皮膚を切除し、縫合致します。

デザイン決定後、局所麻酔を注入し、無痛状態が得られてから処置を開始します。電気メスにて丁寧に止血を行い、吸収糸を用いて皮下を緻密に縫合した後、皮膚用接着剤でコーティングします。

ご希望や肌の状態に応じて、医師の判断で非吸収糸を用いて縫合する場合もございますが、その場合は7日～10日後に抜糸が必要となります。抜糸時には、多少の痛みや出血を伴うことがあります。

処置にかかる時間は切除量や手術範囲、出血量により異なりますが、通常は1時間以内で終了します。

☑危険性

再出血・血腫・感染・創部離開・アレルギー・皮膚壊死・肥厚性瘢痕・ケロイドなど

いずれも発生頻度は極めて低いですが年齢や併存疾患の有無、生活状況などにより個人差があります。

☑手術を行った後の経過と経過中に起こり得る問題

1) 痛み・腫れ・ひきつれ・かゆみ

ほぼ100%生じる症状です。術後1ヶ月で概ね改善し、3ヶ月で自覚症状がなくなる方がほとんどですが、厳密には6ヶ月から1年かけて創傷治癒の過程を経ることをご承知ください。

2) 硬結

部分的に、しこりのように触れることがございますが、経過と共に徐々に柔らかく落ち着いていきます。

3) 左右差

元々の左右差は多かれ少なかれ存在します。手術で左右差を目立たなくするよう努めますが、完全に消失させることは不可能ですのでご注意ください。

4) 赤み・傷跡

赤みは3～4週間で落ち着くことが多いですが、体質によっては色素沈着が生じる場合があります。できる限り傷跡が目立たないように施術いたしますが、最終的に白い線状の跡が生涯残る可能性があります。

5) 唇の形や位置の変化

上唇の位置が上がり、唇の形が変わり、閉口しづらい場合がございます。また、上唇が前方に突出する場合がございますが、術後の経過と共に徐々に馴染んでいきます。

6) 上唇の感覚の一時的な麻痺

手術後、上唇や鼻下部分に一時的な感覚の鈍さや麻痺が生じることがありますが、多くの場合、数週間から数ヶ月で回復します。

7) 余剰皮膚の残存

一度の手術で切除できる皮膚には限界があります。腫れが落ち着いた後に、たるみや不満が残る場合には、追加の施術を検討することも可能です。（料金別途）

☑注意事項

下記にあてはまる方は事前にお申し出頂いております。休薬が必要なものに関しましては、手術日までにかかりつけ医に調整をお願いして下さい。当日の体調によっては手術を中止と致します。

- 1) 妊娠・授乳中の方、妊娠の可能性がある
- 2) これまで歯科の麻酔や局所麻酔でアレルギー症状があった
- 3) ヨード液の消毒でアレルギー症状があった
- 4) 現在治療中、服薬中の疾患がある
- 5) 抗凝固剤、抗血小板薬(ワーファリン、アスピリン、イグザレクト、バイアスピリン、プラビックス、エパデール等)を服用している
- 6) 心臓病、糖尿病、便秘症、緑内障、脳梗塞、人工透析、高血圧症で治療、服用している

☑手術後の生活について(下記は参考です。その他個別にも配慮致しますのでご相談下さい。)

- シャワー・入浴：当日より可能 ※術後～1週間、長湯は控えましょう
- 施術部分のメイク：1週間後より可能(抜糸ありの場合は抜糸後より)
- 顔面のマッサージ・ピーリング：術後～1ヶ月控えていただく。
- 大きな口を開ける：1ヶ月控えていただく。
- 飲酒・喫煙:術後～1ヶ月控えていただく。
- サウナや激しい運動:術後～1ヶ月控えていただく。

☑偶発症発生時の対応

アナフィラキシーショック等、偶発症が発生した際には最善の処置を行います。医師が救急搬送を要すると判断した場合には直ちに救急要請を行います。なお、他院で生じた医療費は患者様のご負担となります。

☑同意撤回

一度同意書を提出しても、手術が開始されるまでは手術をとりやめる事ができます。とりやめる場合にはご連絡をお願い致します。ご予約のキャンセルに関しましてのルールはキャンセルポリシーに準じます。

キャンセル可能期間中のキャンセル:無料受付

キャンセル可能期間を過ぎてのキャンセル:施術+診察料の100%の料金をご請求させていただきます。

※天災やその他、証明書が発行されるご事情によるキャンセルである場合、料金は頂きません。